

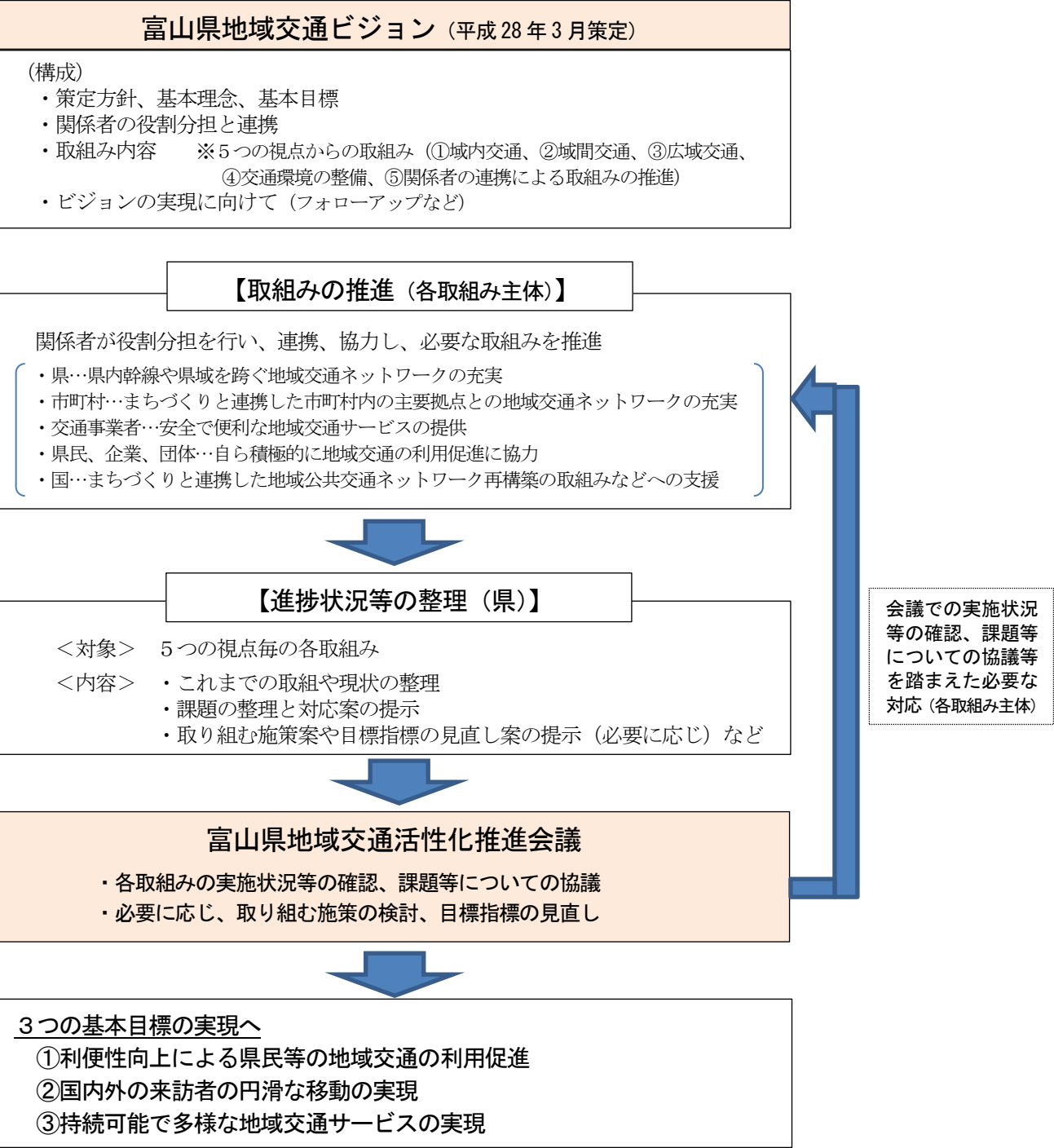
「富山県地域交通ビジョン」のフォローアップについて

【基本的な考え方】

地域交通ビジョンでは、ビジョンの実現に向けて、関係者が役割分担を行い、連携、協力し、5つの視点から必要な取組みを進めることとしている。

ビジョンの取組みを効果的に進めるため、5つの視点毎に、県が進捗状況や課題、今後の対応案等を取りまとめ、「富山県地域交通活性化推進会議」において確認し、課題等について協議するとともに、必要に応じて、取り組む施策の検討、目標指標の見直しなどを行う。

【フォローアップのイメージ】



※「富山県地域交通ビジョン」の取組みの体系

視点	基本的な方向	取組みの内容
域内交通	市町村のまちづくり計画と連携した地域内の交通ネットワークの充実と利用促進	①市町村におけるまちづくり計画と連携した地域交通ネットワークの計画の策定とその推進 ②地域の実情に応じた多様な地域交通サービスの展開 ③公共交通不便地域の利便性の確保
域間交通	豊富な鉄軌道網等を活用した地域間の交通ネットワークの充実と利用促進	①公共交通機関相互の接続利便性の向上等 ②利便性を考慮した等時隔ダイヤの実現 ③拠点駅など交通結節点の機能強化 ④複数の市町村等の連携による地域交通の利便性向上
広域交通	新幹線駅や空港を起点とした広域的な交通ネットワークの充実と利便性の向上	①北陸新幹線の県内駅、富山きときと空港との交通ネットワークの充実 ②広域周遊観光ルートの充実 ③地域観光資源と連携した多様な観光列車の運行 ④交通情報等の提供
交通環境の整備	利用者にやさしい、安全・安心な地域交通環境の整備	①全国相互利用可能な交通ＩＣカードの導入促進 ②駅舎・バス停等の利便性の向上 ③多様なニーズに対応した付加価値の高い地域交通サービスの提供 ④安全・安心な地域交通の基盤づくり
関係者の連携による取組みの推進	交通事業者・行政・県民等が連携協力し、地域交通の利用啓発や持続可能な事業環境の整備	①「鉄軌道王国とやま」の情報発信 ②県民の地域交通の利用促進に向けた啓発活動 ③バス運転手の確保など人材育成と交通従事者のおもてなし力の向上